岩盤ボーリング柱状図

調　査　名　災関砂防鯉の浦隣2測量調査設計業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	B-5	**調査位置**	広島県呉市　呉市所管内	**北緯**	34° 09′ 5.1976″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	**調査期間**	2019年 3月 4日 ～ 2019年 3月 9日	**東経**	132° 29′ 52.1301″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人** / **コア鑑定者** / **ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 38.97m	**角度**	180° 上 下 0° 90°	**方位**	北0° 東90° 南180° 西270°
総削孔長	17.00m	**地盤勾配**	水平0° 鉛直90°	**使用機種**	試錐機 KR-SH / エンジン NFAD8 MS172EAM / ポンプ 丸山

標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%)	記事
33.97	5.00	粘土質砂	暗茶〜茶褐							(100)	粘土質砂～砂質粘土 部分的に砂混じり粘土。 細礫を混入する。 GL-4.0m付近より花崗岩起源の砂を混入。
30.57	8.40	砂礫	灰褐							(100)	φ2～40mm角礫主体。 主に花崗岩角礫。 基質は粘土混り砂。
26.77	12.20	花崗岩	茶褐	w5		D	VI	d	DH	(100)	全体に褐色化し砂状を呈する。 φ1～2mmの石英と長石、カリ長石が残留する。
21.97	17.00	花崗岩	灰褐	w4		D	IV	c	DH	(100)（最大コア長 9）	柱状～短柱状コアとして採取されるが岩片は脆く指圧で潜在亀裂が分離または新しい亀裂が生じ岩片～礫状となる。 岩石組織は明瞭に残っているが鉱物間結合力が弱く分離し易い。 ハンマーピックで叩くと全体に鈍い音を発するが部分的に弱く反発する箇所がある。

孔内水位／測定月日: 03/05 1.30, 03/06 [illegible], 03/07 [illegible], 03/06 4.90, 03/07 5.60, 03/08 9.60

標準貫入試験

深度 (m)	N値 / 貫入量 (cm)
1.15～1.45	5/300
2.15～2.45	8/300
3.15～3.45	6/300
4.15～4.45	17/300
5.15～5.45	25/300
6.15～6.45	30/300
7.15～7.45	37/300
8.15～8.37	50/220
9.10～9.17	50/70
10.00～10.01	50/10
11.00～11.10	50/100
12.00～12.01	50/10
13.00～13.01	50/10
14.00～14.00	50/0
15.00～15.01	50/10
16.00～16.01	50/10

削孔状況

区間	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
0.00～5.00	3/5	150	86/B2	φ66メタル	20.0	60	0.0	W1/0	0
5.00～17.00	3/6, 3/7, 3/8	100, 67, 100	86/B2	φ66DB	10.0	160	0.1	W2/2	2